



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.1 令和6年9月11日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

なかよしタイム

9月6日（金）の業間時に2回目の「なかよしタイム」を行いました。この「なかよしタイム」は、異学年での交流をとおして、子供たちが互いに思いやり、協力して活動する。上級生が下級生に心を配り、下級生が上級生を見習って成長する。そのような子供たちの姿を目指しています。全校児童が10のグループに分かれ、グループごとに自分たちで考えた活動を行っています。

今回は、グラウンドでドッチボールや鬼ごっこ、体育館で椅子とりゲーム、教室ではトランプやなんでもバスケットなどを行い、交流を深めました。上級生が下級生の手をとって面倒を見たり、異なる学年の子供たち同士が笑顔で遊んだりしている光景は、とても微笑ましいものでした。職員も子供たちと一緒に楽しみながら活動しています。「なかよしタイム」を通じて、校内に一体感が生まれています。



陸上部結団式



男子部長 リノグ・ポールさん
女子部長 鹿島 莉央さん
田村 碧衣さん

9月6日（金）の昼休みに陸上部の結団式が行われました。

11月7日（木）に東総運動場で行われる「銚子市内小学校体育大会」に向けて、陸上部（4年生から6年生）の練習が本格的に始まりました。

陸上部に参加している児童には、2ヶ月間の練習をとおして、自分自身の「人間力」を高めてほしいと伝えました。返事や挨拶などの礼儀を大切に、「自分が疲れているとき」「自分が上手くいかなかったとき」「自分がアドバイスを受けたとき」こそ、自分自身を高める最高のチャンスだと思って努力できる人になってほしいと思います。練習初日の6日から、グラウンドには子供たちの活気が満ちあふれていました。

子供たち一人一人が、それぞれの目標を目指す取組の中で、心も体も成長していってくれることを願っています。

考える力・生み出す力

2学期が始まり、子供たちから夏休みに頑張った課題が提出されました。科学工夫作品や科学論文、標本や読書感想文など、どの作品もそれぞれに努力の跡がうかがえた素晴らしいものでした。これからの時代に生きる子供たちにとって必要な力は、学んだことをもとに、自ら考え、工夫し、自分なりに納得できるものを生み出していく力なのだと思います。

そのような視点で考えると、夏休みの宿題に対して子供たちが「何をしようかな。」「どのように進めたらいいのかな。」「もっと良くするためにはどうしたらいいのかな。」と、自分で考えたり悩んだりしているときこそ、実はものすごく勉強になっている、成長しているときなのではないでしょうか。

子供たちの特性は一人一人様々です。自分の考えをすぐにまとめられる子もいれば、じっくり考えて自分が納得できるまで落とし込んでから動き出す子もいます。私たちが大切にすることは、子供たちが失敗をしないようにレールを敷くことではなく、子供自身が成長している瞬間を見守りながら、本当に行き詰まったときに、ほんの少しだけアドバイスをしてあげることなのだと思います。

